

平成19年度「府中市キャリア・スタート・ウィーク」  
教職員一日職場体験研修報告書

府中市立第三中学校  
氏名 岡崎博治

体験日	平成19年8月20日(月)
体験事業所	株式会社タテイシ広美社
<p>1 感想</p> <p>僅か一日だけの職場体験ではありましたが、社会の第一線で活躍する企業の技術や経営理念・経営方針等に直に触れる機会を与えて頂きましたことに感謝します。職場体験で学んだことはたくさんありましたが、今後職場にいかしたいことを次の3つの視点から述べます。</p> <p>(1) 経営理念・経営方針について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・社長の経営理念(経営哲学)が、社内の至る所に反映していました。(社長の一つ一つのことは社員全員の心を引きつけるものでした。「困ったときは経営理念に立ち返れ」「顧客を幸せにする気持ちで仕事をすれば会社は繁栄する」「ニーズをつかみ時代の先取りをしよう」「私が変われば、周りが変わる」「目標が決まれば手段が見える」「会社は人を育てる場所」「楽しくなければ仕事ではない」「ピンチはチャンス」「社員の思いやりの気持ちに私は支えられている」等)</li><li>・職場ではみなさんがプロ意識を持って仕事をされていました。</li><li>・楽しそうに(仕事に誇りを持って)働いておられました。</li><li>・どの部屋の壁にも分かりやすいことばで経営理念が掲示してありました。</li></ul> <p>(2) 課題解決の仕方について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・職場のみなさんが笑顔で気持ちよくあいさつを返してくださいました。</li><li>・危機管理意識が徹底していると思いました。(緊張感のような雰囲気を感じました。)</li><li>・整理整頓が行き届いていました。</li><li>・思いやりの気持ちをもってお互いに声をかけ合っておられました。</li><li>・お互いの仕事の役割をみんなが理解していると思いました。</li></ul> <p>(3) 指導力向上のための参考事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・朝会のシステム(自分の考えをまとめて報告したり、改善案を検討したりする等)は、学校で生徒達が実施している取組みとそのままつながるものがありました。</li><li>・社長さんは社員一人一人の職業的な成長と、人としての成長を心から願っておられました。</li></ul> <p>最後に、本校では授業でかわりながら学ぶ取組みをしていますが、現実の社会でもそれが求められており、学校での取組みはそのまま社会に通じるものだと実感しました。</p>	
<p>2 平成20年度「府中市キャリア・スタート・ウィーク」の推進に向けての抱負及び改善点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「生徒だけではなく先生にも職場体験をして、そこで感じたものを生徒指導に生かしてほしい」「社会を知らないのは生徒だけではなく先生も同じではないかと思えます」これは、多くの事業主の方や様々な事業所の従業員の方々から直接聞いてきたことばです。また、一日職場体験に参加して、知っているつもりでいても実際は知らないことが多く、地元の企業が社会にどのように貢献をしているのか実感として捉えていないことに気づくことができました。</li><li>・教師にとって、職場体験は気を遣うことも多く心理的な負担も大きいと思えますが、実際に参加してみて学ぶことが多くありました。今後、多くの先生方にも経験をしてほしいと思えます。</li><li>・事業主の方の方針によって、生徒の学び方が大きく違ってくると思えます。特に勤務時間や勤務内容等についてはある程度負荷を与えるように共通の認識を持って生徒にあたってほしいと思えます。</li></ul>	

